

【療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助】

① 高齢者虐待への支援：

● バイオ

低栄養	るいそう	認知症	褥瘡	受診歴
-----	------	-----	----	-----

● ソーシャル

家族と密着
-------

● クライエントの環境

介護力不足	経済問題	社会資源活用の有無	息子と同居
-------	------	-----------	-------

② DV 支援

● バイオ

精神疾患	外傷	抑うつ
------	----	-----

● サイコ

パワーレス	共依存
-------	-----

● ソーシャル

逆らえない家族がいる
------------

③ 子ども虐待への支援

● バイオ

体重増加不良	不自然な外傷	低栄養	未受診	発達の遅れ	脱水	意識障害
--------	--------	-----	-----	-------	----	------

● サイコ

情緒の乏しさ	不安
--------	----

● ソーシャル

親の離婚歴	親が未婚	家族の被虐待歴
-------	------	---------

● クライエント環境

経済問題	近所付き合いがない	地域性	施設入所	受診の遅れ
------	-----------	-----	------	-------

④ 養育支援

● バイオ

重心	低出生体重児	染色体異常	精神疾患合併症のある妊婦
身体疾患合併妊婦	多胎	非予定出産	医療的ケアの継続が必要

● サイコ

育児不安	産後うつ	知的障害	障害受容	精神障害	人格障害
------	------	------	------	------	------

● ソーシャル

地域の介入拒否
---------

● クライエントの環境

長期入院
------

⑤ 家族問題への対応

● バイオ

脳血管疾患	がん	蘇生後脳症	在宅酸素	ADL の低下
-------	----	-------	------	---------

● サイコ

介護力不足	相談行動
-------	------

⑥ 心理的サポート

● バイオ

がん	やけど	難病	薬物依存	アルコール依存
難聴	うつ	気持ちが落ち込む	眠れない	

●サイコ

薬物依存	易怒性
------	-----

⑦ 社会的課題の整理

●バイオ

高次脳機能障害
---------

●サイコ

死の恐怖
------

●ソーシャル

家族・親族との交流はあるか
---------------

●クライアント環境

帰る家がある	保険料・税金滞納	無保険
--------	----------	-----

⑧ 社会保障説明

●バイオ

透析導入	ペースメーカー	特定疾患	在宅酸素	人工関節
人工肛門	HIV・AIDS	身体の障害	知的の障害	精神の障害
化学療法要	高額な医療が必要	COPD	認知症	

●サイコ

意欲低下	通院の負担
------	-------

●ソーシャル

求職・就労継続	役割変化
---------	------

⑨ 後見人制度活用支援

●バイオ

認知症
-----

●ソーシャル

家族が不在
-------

⑩ 疾患別支援（自殺、アルコール問題、HIV への支援）

●バイオ

自殺企図	抑うつ	適応障害	認知機能の障害	アルコール依存
------	-----	------	---------	---------

●サイコ

心理的視野狭窄	感情表出のしづらさ	繰り返される自損行為
援助希求行動の取りづらさ		

●ソーシャル

病苦	家族の自殺企図行動の受け入れ	患者・家族の強迫的言動
----	----------------	-------------

【退院援助】

① 療養先検討

●バイオ

ADL 低下	呼吸器疾患	整形疾患	難病	悪性腫瘍
脳血管疾患	糖尿病	せん妄		

●サイコ

抑うつ症状	認知機能低下
-------	--------

●ソーシャル

独居	家族不仲	キーパーソン不在	家庭内暴力
----	------	----------	-------

●クライアントの環境

経済問題	独居
------	----

② リハビリ病院への転院支援

● バイオ

脳血管疾患	ADL 低下	呼吸器疾患	整形疾患	交通外傷(頭部外傷)
高次脳機能障害	重症医療依存度			

● サイコ

高次脳機能障害
---------

● ソーシャル

独居
----

● クライエントの環境

要改修	家族内暴力
-----	-------

③ 転院支援

● バイオ

悪性腫瘍	ADL 低下	高次脳機能障害	重症医療依存度	循環器疾患	
呼吸器疾患	難病	脳血管疾患	入退院繰り返し	アルコール問題	介護困難

● サイコ

うつ症状	高次脳機能障害	せん妄	認知症	意志疎通困難
------	---------	-----	-----	--------

● ソーシャル

キーパーソン不在	独居(日中独居)	介護者不在	家族関係問題	高齢者世帯
----------	----------	-------	--------	-------

● クライエントの環境

高齢者世帯	経済問題	生活保護	入退院繰り返し	独居
-------	------	------	---------	----

④ 療養型病院への転院支援

● バイオ

ADL 低下	糖尿病	重症医療依存度	悪性腫瘍	意識障害
呼吸器疾患	保険不適用	難病	脳血管疾患	アルコール

● サイコ

高次脳機能障害
---------

● ソーシャル

住宅問題	介護者不在	家族関係問題	独居	高齢者世帯
------	-------	--------	----	-------

● クライエントの環境

高齢者世帯	生活保護受給
-------	--------

⑤ 施設入所支援

● バイオ

整形疾患	ADL 低下	悪性腫瘍	呼吸器疾患	認知症
循環器疾患	要介護状態			

● サイコ

不安症状	認知症
------	-----

● ソーシャル

介護困難	独居	高齢者世帯
------	----	-------

● クライエントの環境

ADL 低下
--------

⑥ ホスピス紹介

● バイオ

悪性腫瘍	ターミナル期	治療困難
------	--------	------

● サイコ

病気の受容
-------

● ソーシャル

介護力不足

● クライエントの環境

在宅の介護力なし

⑦ 自宅退院支援

● バイオ

ADL 低下	重度熱傷	要介護状態	痛み	アルコール依存症	
がん	消化器疾患	視力障害	ターミナル	骨折	精神疾患
脳卒中	処置	循環器疾患	糖尿病	認知症	腎疾患
呼吸器疾患	要医療				

● ソーシャル

外国籍 家族関係良好

● クライエントの環境

持家	要住宅改修	経済問題	単身	独居
賃貸住宅	家族サポート有	介護用品無		

⑧ 在宅療養環境調整

● バイオ

がん末期 ADL 低下 肝硬変 喘息 在宅酸素

● サイコ

抑うつ症状

● ソーシャル

収入減 独居 社会的役割の喪失

● クライエントの環境

独居 ADL 全般に要介助 経済的問題

【社会復帰援助】

① 復職・社会参加への支援

● バイオ

悪性腫瘍 身体的活動制限 身体障害者 精神疾患 高次脳機能障害 65 歳以下

● サイコ

就労希望

● ソーシャル

無職 18 歳以下の子供が居る

● クライエントの環境

生活保護非該当 家賃・ローン

② 就学支援

● バイオ

身体的活動制限 身体障害（見込含） 精神疾患 発達障害

● サイコ

情緒不安定

● ソーシャル

虐待の記録 家族の精神疾患

● クライエントの環境

児童相談所の介入

【受診・受療援助】

① 受療援助

● バイオ

認知症	リハビリが必要	脳卒中	腎移植	難病
がん	糖尿病	精神疾患	がん末期	

● サイコ

精神疾患	短期記憶障害
------	--------

● ソーシャル

外国人	高齢者世帯	独居	認知症	キーパーソン不在
-----	-------	----	-----	----------

● クライエントの環境

海外研修中	家族は本国	持家	車なし	生活保護受給
-------	-------	----	-----	--------

② 通訳調整

● バイオ

ろうあ者
------

● サイコ

言葉が分からない
----------

● ソーシャル

滞日外国人
-------

● クライエントの環境

異文化	外国語	通訳が必要
-----	-----	-------

【経済問題の解決、調整援助】

① 経済問題の解決

● バイオ

悪性腫瘍	難病	交通外傷	骨折	心肺停止	呼吸器疾患
自傷他害	透析	クモ膜下出血	入退院繰り返し	要介護状態	継続治療

● ソーシャル

単身	無職	身元不明	キーパーソン不在
----	----	------	----------

● クライエントの環境

ホームレス	オーバーステイ	無収入	生活保護非該当
-------	---------	-----	---------

援助内容ごとの上記ハイリスク項目をさらに類型化整理し、以下候補となりうる47のハイリスク項目を挙げた。これらの項目を調査1においてデータを全国の調査参加施設から収集し、統計学的分析を行って、実務基準の作成のために検討する。

#### 【ハイリスク項目】

心筋梗塞、うっ血性心不全、末梢血管疾患、脳血管疾患、認知症・認知機能障害  
慢性閉塞性肺疾患、結合組織病院（SLE、強皮症等）、消化器潰瘍、糖尿病、中等度から重度の腎臓病、片麻痺、白血病、悪性リンパ腫、固形腫瘍、肝臓病、AIDS、頭部外傷、脊髄損傷、熱傷、骨折、その他の外傷、蘇生後脳症、精神疾患、アルコール関連疾患・アルコール問題の記録がある、低栄養、褥瘡、脱水、手術が必要、がん性疼痛、  
終末期、自傷・自殺企図および歴あり、合併症を有する妊婦、未受診出産および歴あり、介護保険サービスを利用している、生活保護、無保険（外国人除く）、保証人がいる  
身元不明、住所が未記入、ビザもしくは無保険の外国人、言語的支援が必要な外国人、患者に虐待・被虐待の記録がある、キーパーソン不在、独居、高齢者のみの世帯、身寄りなし、家族不明。

#### 4. 考察

今回の調査で、SWの業務内容は多岐にわたるのがわかった。家族内暴力への支援や心理的支援、がん・エイズなど、疾患の特性による生活問題への支援など、患者の生活全体に対して心理・社会的支援を行っており、ハイリスク項目は業務内容ごとに特徴があった。

その中でも退院支援は患者の生活全体にわたる課題に対応している。ソーシャルワーク介入実務基準を用いた支援は、入院早期の支援時間が確保されるだけでなく、患者の心理・社会的問題の発生を迅速に把握するなど、状況を悪化させる要因の回避など予防的な介入もし易くなると考える。

#### 5. 課題

今回明らかになったハイリスク項目は、まだ試みの段階である。ハイリスク項目の妥当性の検証は、「急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標の開発に関する実践研究」で得たデータを統計学的にも分析し、得られた結果を踏まえ検証し、併せて実用化に向けて研鑽する必要がある。

#### 参考文献・資料

社会福祉養成講座編集委員会編集（2010）『新・社会福祉養成講座 相談援助の理論と方法』中央法規出版株式会社  
厚生労働省保健局長通知（2002年）『医療ソーシャルワーカー業務指針』

### Ⅲ. 資料

## 【調査1】急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標の開発に関する調査

このアンケート票では、あなたの病院における患者について、疾患や入退院の状況、支援の実態についてお聞きします。

- ・患者1名につき、1枚のアンケート票の記入をお願い致します。
- ・2013年2月18日～2013年2月22日に入院した新入院患者(眼科・小児科・産科以外)の人を対象とします。
- ・Q1～Q7は患者が入院してから3日以内に、Q8～Q13は退院時もしくは入院2ヶ月程を目安にご記入ください。
- ・アンケートは裏面に続いておりますので、ご注意ください。
- ・アンケート票が不足する場合は、お手数ですがアンケート票をコピーして頂き、回答をお願い致します。

### 【入院時患者の支援に関する調査】

- Q1 患者の性別をお答えください。(○は1つ)  
 1 男性                      2 女性
- Q2 患者の年齢をお答えください。  
 [ ] 歳
- Q3 患者の入院時の診療科を以下よりお選びください。(○は1つ)
- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| 1 内科          | 12 感染症内科       | 23 脳神経外科      |
| 2 呼吸器内科       | 13 精神科         | 24 整形外科       |
| 3 循環器内科       | 14 心療内科        | 25 形成外科       |
| 4 消化器内科(胃腸内科) | 15 外科          | 26 眼科         |
| 5 腎臓内科        | 16 呼吸器外科       | 27 耳鼻いんこう科    |
| 6 神経内科        | 17 心臓血管外科      | 28 婦人科        |
| 7 糖尿病内科(代謝内科) | 18 乳腺外科        | 29 リハビリテーション科 |
| 8 血液内科        | 19 気管食道外科      | 30 放射線科       |
| 9 皮膚科         | 20 消化器外科(胃腸外科) | 31 麻酔科        |
| 10 アレルギー科     | 21 泌尿器科        | 32 救急科        |
| 11 リウマチ科      | 22 肛門外科        | 33 その他        |
- Q4 入院日をご記入ください。  
 (西暦) [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日
- Q5 退院日または退院予定日をご記入ください。予定日の場合は、予定に○をつけてください。  
 (西暦) [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日 予定( )  
 未定( ) ※退院日が未定の場合は左欄に○を記入してください。
- Q6 入院時48時間以内のカルテに記載されている病名(疑いを含む)・身体的情報について、あてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○) その他を選択する場合は、カッコ内に病名をお書きください。
- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1 心筋梗塞            | 22 蘇生後脳症                  |
| 2 心不全・うっ血性心不全     | 23 精神疾患                   |
| 3 末梢血管疾患          | 24 アルコール関連疾患・アルコール問題の記録   |
| 4 脳血管疾患           | 25 抑うつ記載あり                |
| 5 認知症・認知機能の障害     | 26 薬物依存症                  |
| 6 慢性閉塞性肺疾患        | 27 適応障害・境界性人格障害の記載        |
| 7 結合組織病(SLE、強皮症等) | 28 低栄養                    |
| 8 消化器潰瘍           | 29 褥瘡                     |
| 9 糖尿病             | 30 脱水                     |
| 10 片マヒ            | 31 肺炎・誤嚥性肺炎               |
| 11 腎臓病            | 32 1.～31.以外の病名( )         |
| 12 白血病            | 33 緊急入院                   |
| 13 悪性リンパ腫         | 34 30日以内に予定された手術・治療以外の再入院 |
| 14 固形腫瘍           | 35 今回と同じ病名で以前に入院した        |
| 15 肝疾患            | 36 手術が必要                  |
| 16 AIDS/HIV       | 37 がん性疼痛                  |
| 17 頭部外傷           | 38 終末期                    |
| 18 脊髄損傷           | 39 自傷・自殺企図および歴あり          |
| 19 熱傷             | 40 合併症を有する妊婦              |
| 20 骨折             | 41 未受診出産および歴あり            |
| 21 その他の外傷         |                           |
- Q7 入院時48時間以内のカルテに記載されている社会的情報について、あてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)
- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 生活保護            | 11 高齢者のみの世帯        |
| 2 無保険(外国人除く)      | 12 虐待の記録がある        |
| 3 ビザなしもしくは無保険の外国人 | 13 定期受診が守れていなかった   |
| 4 身元不明            | 14 食事ができていなかった     |
| 5 身寄りなし           | 15 服薬管理ができていなかった   |
| 6 家族不明            | 16 水分制限が守れていなかった   |
| 7 キーパーソン不在        | 17 介護保険サービスを利用している |
| 8 住所不定・未記入        | 18 自立支援サービスを利用している |
| 9 言語的支援が必要な外国人    | 19 あてはまるものはない      |
| 10 独居・日中独居        |                    |

ここまで、入院3日以内にご記入ください。設問は、裏面に続きます。



ここからは、退院時もしくは入院2ヶ月程を目安にご記入ください。

Q 8 入院～2か月以内の退院時のカルテに記載されている情報について、あてはまるものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 リハビリを実施した
- 2 退院調整加算の算定をした
- 3 あてはまるものはない

Q 9 入院～2か月以内の退院時のカルテに記載されている転帰先の情報について、あてはまるものをお答えください。(○は1つ)

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 退院   | 6 精神   |
| 2 回復期  | 7 緩和ケア |
| 3 療養型  | 8 結核   |
| 4 一般   | 9 施設   |
| 5 亜急性期 | 10 死亡  |

Q 10 退院時のカルテに記載されている病名(疑いを含む)・身体的情報について、あてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)  
その他を選択する場合は、カッコ内に病名をお書きください。

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1 心筋梗塞            | 22 蘇生後脳症                  |
| 2 心不全・うっ血性心不全     | 23 精神疾患                   |
| 3 末梢血管疾患          | 24 アルコール関連疾患・アルコール問題の記録   |
| 4 脳血管疾患           | 25 抑うつ記載あり                |
| 5 認知症・認知機能の障害     | 26 薬物依存症                  |
| 6 慢性閉塞性肺疾患        | 27 適応障害・境界性人格障害の記載        |
| 7 結合組織病(SLE、強皮症等) | 28 低栄養                    |
| 8 消化器潰瘍           | 29 褥瘡                     |
| 9 糖尿病             | 30 脱水                     |
| 10 片マヒ            | 31 肺炎・誤嚥性肺炎               |
| 11 腎臓病            | 32 1.～31.以外の病名( )         |
| 12 白血病            | 33 緊急入院                   |
| 13 悪性リンパ腫         | 34 30日以内に予定された手術・治療以外の再入院 |
| 14 固形腫瘍           | 35 今回と同じ病名で以前に入院した        |
| 15 肝疾患            | 36 手術が必要                  |
| 16 AIDS/HIV       | 37 がん性疼痛                  |
| 17 頭部外傷           | 38 終末期                    |
| 18 脊髄損傷           | 39 自傷・自殺企図および歴あり          |
| 19 熱傷             | 40 合併症を有する妊婦              |
| 20 骨折             | 41 未受診出産および歴あり            |
| 21 その他の外傷         |                           |

Q 11 相談室・連携室等のスタッフのうち、介入したスタッフをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ソーシャルワーカー
- 2 看護師
- 3 事務員
- 4 その他
- 5 非介入

Q 12 ソーシャルワーカーの介入があった患者に対し、介入を開始した日をご記入ください。

(西暦) 年 月 日

Q 13 ソーシャルワーカーの介入があった患者について、あてはまるものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- 2 退院援助
- 3 経済的問題の解決・調整援助
- 4 社会復帰援助
- 5 受診・受療援助
- 6 あてはまるものはない

Q 14 ソーシャルワーカーの介入があった患者について、あてはまるものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 退院支援を行った患者・家族の意向を記録した
- 2 退院後にケアの継続が必要な患者に対して、複数の選択肢を提示した
- 3 退院支援を行った患者がソーシャルワーカーへ連絡なく退院した
- 4 キーパーソン不在の患者のキーパーソンが決められた
- 5 無保険で支払い問題のある患者が制度(保険加入・生活保護等)を利用できた
- 6 退院支援を行った住居のない患者が退院先を決められた
- 7 あてはまるものはない

以上で調査1のアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。

## 【調査2】急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標の開発に関する調査

このアンケート票では、あなたの病院における患者について、疾患や入退院の状況、支援の実態についてお聞きします。

- ・患者1名につき、1枚のアンケート票の記入をお願い致します。
- ・2012年4月1日～2012年4月15日に脳卒中で入院した人を対象とします。
- ・アンケート票が不足する場合は、お手数ですがアンケート票をコピーして頂き、回答をお願い致します。

## 【脳卒中患者に関する調査】

- Q1 患者の性別をお答えください。(○は1つ)
- 1 男性
  - 2 女性
- Q2 患者の年齢をお答えください。
- □ 歳
- Q3 患者が貴病院に入院した日をご記入ください。
- (西暦) □ □ 年 □ □ 月 □ □ 日
- Q4 患者の退院日または退院予定日をご記入ください。予定日の場合は、予定( )に○をつけてください。
- (西暦) □ □ 年 □ □ 月 □ □ 日 予定( )  
未定( ) ※退院日が未定の場合は左欄に○を記入してください。
- Q5 患者にあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)
- 1 脳梗塞
  - 2 脳出血
  - 3 くも膜下出血
- Q6 退院時のカルテに記載されている転帰先の情報について、あてはまるものをお答えください。(○は1つ)
- 1 退院
  - 2 回復期
  - 3 療養型
  - 4 一般
  - 5 亜急性期
  - 6 精神
  - 7 緩和ケア
  - 8 結核
  - 9 施設
  - 10 死亡
- Q7 Q6において、2～8に○が付いた患者について、転帰先としてあてはまるものをお答えください。(○は1つ)
- 1 院内
  - 2 他病院
- Q8 Q6において、「2 回復期」リハビリテーション病棟に転帰した患者が最後に転帰した先をお答えください。(○は1つ)
- 1 退院した
  - 2 施設に入所した
  - 3 他病院に転院した
- Q9 相談室・連携室等のスタッフのうち、介入したスタッフをお答えください。(あてはまるものすべてに○)
- 1 ソーシャルワーカー
  - 2 看護師
  - 3 事務員
  - 4 その他
  - 5 非介入
- Q10 ソーシャルワーカーの介入があった患者に対し、介入を開始した日をご記入ください。
- (西暦) □ □ 年 □ □ 月 □ □ 日

以上で調査2のアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。

SW氏名:

施設ID:

## 【調査 3】クオリティインジケータ調査

このアンケート票は、ソーシャルワーカー(相談部門)の介入に関する調査およびクオリティインジケータに関する調査です。

- ・このアンケート票は、管理者もしくは管理的役割のソーシャルワーカー(SW)にご回答いただく内容です。
- ・1病院につき、1名のSWの方が全ての質問にご回答ください。
- ・アンケートは裏面に続いておりますので、ご注意ください。

## ソーシャルワーカー(相談部門)の介入に関する調査

- Q 1 貴施設における救急指定について、あてはまるものをお選びください。(あてはまるもの1つに○)
- 1 第3次指定
  - 2 第2次指定
  - 3 救急指定なし
- Q 2 貴施設がDPC(診断群分類包括評価)病院かどうかについて、あてはまるものをお選びください。(あてはまるもの1つに○)
- 1 DPC(診断群分類包括評価)病院である
  - 2 DPC(診断群分類包括評価)準備病院である
  - 3 DPC(診断群分類包括評価)病院ではない
- Q 3 貴施設における病床数を、病床区分ごとにそれぞれご記入ください。  
該当する病床がない場合は、お手数ですが数字の0をご記入ください。
- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1 急性期 (            床)  | 4 精神病床 (            床) |
| 2 亜急性期 (            床) | 5 結核病床 (            床) |
| 3 回復期 (            床)  | 6 緩和ケア (            床) |
- Q 4 貴施設におけるソーシャルワーカーの総数をご記入ください。  
続いて、各ソーシャルワーカーの経験年数をご記入ください。例えば、ソーシャルワーカーが20人いる場合は、  
ソーシャルワーカー1人ずつの経験年数をそれぞれ1～20にご記入ください。順番は問いません。

SWの人数: (            名 )

1	(            年)	11	(            年)	21	(            年)
2	(            年)	12	(            年)	22	(            年)
3	(            年)	13	(            年)	23	(            年)
4	(            年)	14	(            年)	24	(            年)
5	(            年)	15	(            年)	25	(            年)
6	(            年)	16	(            年)	26	(            年)
7	(            年)	17	(            年)	27	(            年)
8	(            年)	18	(            年)	28	(            年)
9	(            年)	19	(            年)	29	(            年)
10	(            年)	20	(            年)	30	(            年)

- Q 5 貴施設において、ソーシャルワーカー以外に相談支援を担当する職種として、あてはまるものを選び、  
人数をご記入ください。(あてはまるものすべてに○)
- 1 看護師(            )名
  - 2 事務員(            )名
  - 3 その他(            )名
  - 4 他職種はいない
- Q 6 貴施設では、入院患者全員に対し、ソーシャルワーカーによる介入が必要な患者を選別する  
スクリーニングを実施していますか。(あてはまるもの1つに○)
- 1 はい
  - 2 いいえ
- Q 7 貴施設では、ソーシャルワーカーが介入したケースの質的点検をしていますか。  
以下の質的点検項目のうち、実施しているものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)
- 1 ケースの初期評価
  - 2 スーパービジョン
  - 3 ケース記録の点検
  - 4 進行状況のチェック
  - 5 その他(            )
  - 6 実施していない

アンケートは裏面に続きます。引き続きご回答をお願いします。

Q8 2011年度(2011年4月～2012年3月)の以下の情報について、ご記入ください。

- 1 平均在院日数
- 2 新規入院患者数総数
- 3 新規入院患者数総数のうち、ソーシャルワーカーが介入した人数

	日
	人
	人

Q9 貴施設では、相談の件数を記録していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

**クオリティインジケターに関する調査**

Q10 以下は、クオリティインジケター(QI)に関する質問です。A)～N)のそれぞれの項目につき、(1)～(3)から当てはまるものをお答えください。(3)は、(2)で4「データを取っていない」に○を付けた場合のみお答えください。

※以下のA)～N)の項目は、ソーシャルワーカー(SW)の支援の質を測る指標として考慮されています。質の指標であるQIは、それぞれ(数値:分子/分母)として表します。

	(1)必要性		(2)データ取得状況		(3)今後の取得予定	
	1 QIとして 必要だ と思う	2 QIとして 必要だ と思わ ない	3 すでに データ を取っ ている	4 データ を取っ ていな い	5 今後 データ を取り たい	6 データ を取る こと は難し い
A) 退院患者総数のうち、SWが関わった退院患者数の割合 (計算式:SW支援患者数/退院患者総数)	1	2	3	4	5	6
B) SWが退院支援を行った患者数のうち、患者・家族の意向を記録した数の割合 (計算式:患者・家族の意向を記録した数/SWが退院支援を行った患者数)	1	2	3	4	5	6
C) SWが退院支援を行った患者数のうち、SWに連絡なく退院した患者数の割合 (計算式:SWに連絡なく退院した患者数/SWが退院支援を行った患者数)	1	2	3	4	5	6
D) 退院支援患者数のうち、複数の療養方法を提示した患者数の割合 (計算式:複数の療養方法を提示した患者数/退院支援患者)	1	2	3	4	5	6
E) 認知症・認知障害のある高齢患者数のうち、在宅ケアの必要性評価を実施した数の割合 (計算式:在宅ケア必要性評価実施数/認知症・認知障害の高齢患者数)	1	2	3	4	5	6
F) 在宅ケアサービスが必要な患者数のうち、ケアマネジャーの選択を行った数の割合 (計算式:ケアマネジャーの選択を行った数/在宅ケアサービスが必要な患者数)	1	2	3	4	5	6
G) リハビリの継続が必要な患者数のうち、リハビリ可能な転院先の情報提供を実施した数の割合 (計算式:リハビリ可能な転院先の情報提供実施数/リハビリ継続が必要な患者数)	1	2	3	4	5	6
H) 脳卒中の回復期リハビリ転院支援患者数のうち、7日以内に面接した数の割合 (計算式:7日以内に面接した数/脳卒中の回復期リハビリ転院支援患者数)	1	2	3	4	5	6
I) 転院・施設へ入所した患者数のうち、転院・施設の苦情があった件数の割合 (計算式:転院・施設の苦情の件数/転院・施設へ入所した患者数)	1	2	3	4	5	6
J) 30日以内の予定外に再入院した患者数のうち、SWが支援を行った患者数の割合 (計算式:SWが支援を行った患者数/30日以内の予定外に再入院した患者数)	1	2	3	4	5	6
K) 緊急ケース対象患者数のうち、緊急ケースとしてSWが対応した数の割合 (計算式:緊急ケースとしてSWが対応した数/緊急ケース対象患者数)	1	2	3	4	5	6
L) 無保険の患者数のうち、支援が必要な患者数の割合 (計算式:無保険で支援が必要な患者数/無保険の患者数)	1	2	3	4	5	6
M) キーパーソンが不在の患者数のうち、SWが支援を行った患者数の割合 (計算式:SWが支援を行った患者数/キーパーソンが不在の患者数)	1	2	3	4	5	6
N) 虐待・虐待疑いの患者数のうち、SWが支援を行った患者数の割合 (計算式:SWが支援を行った患者数/虐待・虐待疑いの患者数)	1	2	3	4	5	6

以上で調査3のアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。

受付番号・受付年月日  
 受付番号 第12-003号  
 2012年10月23日

2012年10月23日

公益社団法人日本医療社会福祉協会  
 会長 佐原 まち子 様

申請者名	笹岡 眞弓
勤務先名	文京学院大学
連絡先名称	文京学院大学
連絡先	人間学部人間福祉学科 〒356-8533 ふじみ野市亀久保1196 電話: 049-261-6488 Fax: 049-261-6327 Eメール: msasaoka@hum.u-bunkyo.ac.jp

## 調査研究活動に伴う倫理審査申請書

下記のとおり調査研究の実施を行うに当たり倫理審査について、申請いたします。

\*下記の項目に必要事項をご記入の上、事務局まで申請してください。必要に応じて補助書面を添付してください。

### 1. 調査研究名

正式名称: 平成24年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業  
 急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標(クオリティインジケータ、QI)の開発に関する実践研究

略称: QIの開発に関する実践研究

### 2. 調査研究の実施者について

- ・部・委員会名:
- ・部・委員会担当理事名: 笹岡 眞弓
- ・本調査研究の代表者: 笹岡 眞弓
- ・実際に本調査を担当する責任者: 笹岡 眞弓
- ・倫理担当者(いない場合には設けること): 笹岡 眞弓
- ・本調査の協力者・分担者(氏名・所属、会員・非会員の別及び役割分担)

西田 知佳子(聖路加国際病院・会員)  
 宮内 佳代子(帝京大学医学部附属溝口病院・会員)  
 原田 とも子(NTT東日本関東病院・会員)

- ・外部協力者(個人、企業・教育機関・他)
- 福井 次矢(聖路加国際病院・院長)  
 小山 秀夫(兵庫県立大学大学院・教授)  
 高橋 理(聖ルカライフサイエンス研究所臨床疫学センター・副センター長)  
 大出 幸子(聖ルカライフサイエンス研究所臨床疫学センター・研究員)

<b>3. 調査研究活動の目的と実施方法</b> (アンケート調査、事例収集、ヒアリング、モニターなどの方法と対象など具体的に記載する) 会員のSWを記入者、SWが所属する病院への入院患者を対象者とした質問票によるアンケート調査	
<b>4. 実施予定期間・数</b> ① 2012年11月 日～ 2013年1月 日 ② 予定数(約100施設 ) ③実施場所・地域 全国	<b>5. 本申請の回答希望期限</b>  2012年11月20日まで
<b>6. 調査研究活動の実施上の倫理的配慮</b> I. 対象となる個人及び関係者における利益・不利益(どのような利益・不利益が予想されるか) ・対象となる個人及び関係者における利益・不利益はないと考えられる。  II. 対象となる個人及びその関係者に対する人権の擁護の方法(秘密保持、人権尊重など) ・個人名は調査せず、個人が特定されないよう配慮する。  III. 対象となる個人及びその関係者に対する説明の概要、承諾をうけるべき事項 ・調査を実施する各機関において、倫理審査委員会に諮るものとする。 ・データは統計処理を行い、個人を特定しないこと、適切にデータ管理を行うこととし、これらの倫理的配慮については、依頼文書内に明示する。	
<b>7. 倫理問題上の想像されるトラブルとその対処策について</b> ・患者に関するデータを使用するため、本調査については各機関の倫理審査委員会に承認を得たうえで実施する予定である。	
<b>8. 調査研究成果の発表方法(報告書の作成、インターネット・医療と福祉・会報等への公開予定)</b> ・厚生労働科学研究費補助金の規定にしたがい、報告書を作成し、概要をデータベースにて公開する。	
<b>9. 申請者からの意見・要望等</b> ・特になし。	
<b>10. 添付資料リスト</b> ① 研究等計画書(2011年3月作成) ② 同意説明文書・同意書(2012年10月作成) ③ 分担者リスト ④ 調査用紙(アンケート・質問など) * 必要に応じて ⑤ 協力機関の承諾書 ⑥ その他( )	

【協会事務局使用欄】

事務局申請書 受領日	総務部長申請書 受領日	調査研究活動倫理委員長 受領日	申請者への通知日

【委員会・総務部使用欄】

調査研究活動倫理委員長 決裁	総務担当理事 決裁	会長 決裁

病院  
理事長

急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標(クオリティインジケータ、QI)の  
開発に関する調査へのご協力をお願い

#### 1. 調査の目的

保健医療と福祉の連携が、今後の我が国の医療及び福祉政策にとって重要な課題である今日、連携の要となりうる医療ソーシャルワーカー（以下 SW）の業務を標準化し、その質を担保することを目的として、SW の介入を必要とする患者を漏れなく抽出するための実務基準(ハイリスク基準項目)と、SW の質指標(クオリティインジケータ QI) を開発することを目的としています。

#### 2. 研究助成

平成 24 年度厚生労働省科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)の助成を受けております。

#### 3. 調査対象者

公益社団法人日本医療社会福祉協会の会員が所属する全国の代表的な急性期病院で、全国医療ソーシャルワーカー協会会長会の推薦が得られた病院を 100 病院程度選出し、その病院の入院患者様のデータを対象としています。

#### 4. 調査項目について

実務基準につきましては、神奈川県大学病院ソーシャルワーカー連絡会の行った地調査結果をもとに、リスク要因の項目を決定しました。実務基準の分析については、SW が入院中に介入したかどうかをアウトカムとし、SW の介入必要基準の分析をします。

クオリティインジケータ(以下 QI)の項目につきましては国内・外(アメリカ)の文献から主要な項目を選定し SW の質に関するインタビュー結果と、フォーカスグループインタビュー調査により、日本の医療 SW の実務的に主要である退院支援に関する QI 案を策定しました。各 QI の分析については、記述統計にて参加施設の達成状況を検討します。

#### 5. ご協力依頼内容

2013 年 2 月 18 日～22 日の 5 日間の全入院患者様のデータ、および脳卒中中の患者様につきましては 2012 年 4 月 1 日～15 日の 2 週間の全入院患者様のデータを使用させていただきたいと思っております。調査項目の記入は、貴病院の医療ソーシャルワーカーにご依頼申し上げます。

## 6. 研究倫理

研究成果の発表に当たっては、病院名を公表せず、また患者様の個人名は調査に当たっても特定できないように統計的に処理し、データの保管も外部記憶装置に記録し、厳重に保管いたします。またこの調査に当たっては公益社団法人日本医療社会福祉協会倫理委員会の審査を経て承認を得ております。調査への協力は任意であり、協力いただけないことによる不利益は一切生じないことを保証いたします。

つきましては、業務ご多忙のところ恐縮ではございますが、研究の主旨をご理解いただき、本調査にご協力頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

恐れ入りますが、調査票への回答を持って、調査参加へのご同意を得たものとさせていただきます。

研究代表者 笹岡 真弓 文京学院大学 人間学部 教授  
分担研究者 福井 次矢 聖路加国際病院 院長  
                  小山 秀夫 兵庫県立大学大学院 教授  
                  高橋 理 聖ルカライフサイエンス研究所臨床疫学センター長 一般内科医長  
                  大出 幸子 聖ルカライフサイエンス研究所臨床疫学センター上級研究員  
                  西田 知佳子 聖路加国際病院前 コメディカル部長  
                  宮内 佳代子 帝京大学医学部附属溝口病院 医療相談室長  
                  原田 とも子 NTT 東日本関東病院 副総合相談室長

### お問い合わせのための連絡先

文京学院大学 人間学部 笹岡真弓

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

TEL 番号 049-261-6488 fax 番号 049-261-6496

メールアドレス msasaaka@bgu.ac.jp



「急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標の開発に関する実践研究」

### ＜調査に関する進め方のお願い＞

この度は、調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

調査票は3部構成になっています。回答して頂く調査票によって調査期間、回答期間が異なりますのでご注意くださいようお願いいたします。

回答された調査データは個人が特定できないよう統計処理されますが、調査票返送後、欠損項目がございますとデータとして使えなくなります。回答漏れのないよう重ねてお願い申し上げます。

#### 調査1：患者調査

調査期間：2013年2月18日～22日 + 退院時（2カ月以内）

調査対象：上記期間中、新規に入院した患者全員（眼科、小児科、産科は除外）

- ① ソーシャルワーカー（SW）の介入とクオリティ・インジケータの根拠を明らかにするための調査です。
- ② 新入院患者全員にカルテ、ソーシャルワーク記録の情報から調査票に回答してください。調査は、入院から48時間以内の回答と、退院時に回答していただく欄がございます。
- ③ Q6の病名はカルテに記載されたものをチェックしてください。  
カルテに病名が記載されていない場合は、「入院治療計画書」の病名でも可です。
- ④ Q6の病名の40『合併症を有する妊婦』、41『未受診出産および歴あり』にチェックすると産科の入院になり、調査対象「産科を除く」と矛盾するように思われるかもしれませんが、今回は、産科のカルテを見ないとわからないケースは調査対象外にしてください。「40」と「41」は産科以外の診療科カルテに記載されている場合のみ、チェックしてください。
- ⑤ Q12ソーシャルワーカーが介入した日は、患者と面接しなくても、面接前に関係者に情報収集するなど、SWが何らかのアクションをおこした日を介入日としてください。
- ⑥ 上記質問の続きです。SWが入院前から継続して関わっている患者が入院した場合の介入日は、入院後初めてSWがアクションを起こした日を介入日にしてください。
- ⑦ 調査票1 Q3の診療科、33その他に〔 〕があった方が良いというご意見もありましたが、これは必要に応じて記入することで対応をお願いします。

- ・調査期間が上記と異なる場合は、事前に研究責任者（裏面に連絡先記載）まで連絡して下さるようお願いいたします。
- ・調査1は、退院時の情報を回答したうえで、ご返送をお願いします。ただし、2か月を経過した方の退院時データは未記入で、返送用封筒で4月26日（金）までに返送ください。

## 調査2：脳卒中患者の調査

調査期間：2012年4月1日～15日（昨年です）

調査対象：上記期間中、脳卒中で入院した患者

- 脳卒中患者に対する、ソーシャルワーカーの介入結果を明らかにする調査です。
- 期間内に新規に入院した脳卒中の患者について、入院中の調査項目と、回復期リハビリテーション病院へ転院した患者が回復期からどこに退院したかを回答していただく調査項目があります。回復期からの退院先がカルテ情報でわからない場合は、お手数ですが転院先に確認して回答してください。
- 調査3の解答用紙と共に3月11日（月）までに同封の返送用の封筒で送ってください。

## 調査3：クオリティ・インジケータの調査

調査期間：2013年2月18日～22日

調査対象：管理的役割のソーシャルワーカー

- ソーシャルワーカーの支援の質として必要と思われるクオリティ・インジケータ（QI：質指標）について、アメリカのQIと必要と思われる指標を作成し、回答をしていただく調査です。
- 調査2の解答用紙と共に3月11日（月）までに同封の返送用の封筒で送ってください。

\*調査に関する問い合わせ先

〒356-6488

埼玉県ふじみ野市亀久保1196

文京学院大学人間学部 笹岡真弓（研究責任者）

TEL 0429-261-6488

[msasaoka@bgu.ac.jp](mailto:msasaoka@bgu.ac.jp)

090-9838-3916

\*調査に関する事務的な問い合わせ先

文京学院大学学生支援センター人間学部教務グループ

武藤義人・三俣正春

TEL 049-261-6488 FAX.049-261-6327

調査名【【調査2】急性期病院におけるソーシャルワーカーの実務基準と質指標の開発に関する調査】

## (2) Q1. 患者の性別... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	327	57.8
2	女性	235	41.5
	不明	4	0.7
	全体	566	100.0

## (3) Q2. 患者の年齢... (数量)

合計	40858.00
平均	72.44
分散(n-1)	195.42
標準偏差	13.98
最大値	99.00
最小値	19.00
不明	2
全体	564

## (7) Q5. 症状... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	脳梗塞	359	63.4
2	脳出血	149	26.3
3	くも膜下出血	54	9.5
	不明	8	1.4
	全体	566	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	570		100.7

## (8) Q6. 退院時のカルテ記載の転帰先情報... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	退院	276	48.8
2	回復期	126	22.3
3	療養型	31	5.5
4	一般	33	5.8
5	亜急性期	1	0.2
6	精神	2	0.4
7	緩和ケア	0	0.0
8	結核	0	0.0
9	施設	21	3.7
10	死亡	74	13.1
	不明	2	0.4
	全体	566	100.0

## (9) Q7. 転帰先... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	院内	16	8.3
2	他病院	176	91.2
	不明	1	0.5
	全体	193	100.0

## (10) Q8. リハビリテーション病棟から最後に転帰した先... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	退院した	81	64.3
2	施設に入所した	21	16.7
3	他病院に転院した	11	8.7
	不明	13	10.3
	全体	126	100.0

## (11) Q9. 相談室/連携室等のうち、介入したスタッフ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ソーシャルワーカー	276	48.8
2	看護師	25	4.4
3	事務員	1	0.2
4	その他	0	0.0
5	非介入	263	46.5
	不明	20	3.5
	全体	566	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	585		103.4

調査名 [【調査3】クオリティインジケータの調査]

(3) Q1. 施設における救急指定...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	第3次指定	17	29.8
2	第2次指定	37	64.9
3	救急指定なし	1	1.8
	不明	2	3.5
	全体	57	100.0

(4) Q2. DPC病院...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	DPC (診断群分類包括評価) 病院である	43	75.4
2	DPC (診断群分類包括評価) 準備病院である	4	7.0
3	DPC (診断群分類包括評価) 病院ではない	10	17.5
	不明	0	0.0
	全体	57	100.0

(5) Q3. 病床区分ごとの病床数\_急性期...(数量)

合計	23376.00
平均	410.11
分散(n-1)	74350.45
標準偏差	272.67
最大値	1480.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(6) Q3. 病床区分ごとの病床数\_亜急性期...(数量)

合計	197.00
平均	3.46
分散(n-1)	80.22
標準偏差	8.96
最大値	39.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(7) Q3. 病床区分ごとの病床数\_回復期...(数量)

合計	402.00
平均	7.05
分散(n-1)	645.37
標準偏差	25.40
最大値	165.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(8) Q3. 病床区分ごとの病床数\_精神病床...(数量)

合計	864.00
平均	15.16
分散(n-1)	562.46
標準偏差	23.72
最大値	100.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(9) Q3. 病床区分ごとの病床数\_結核病床...(数量)

合計	141.00
平均	2.47
分散(n-1)	93.08
標準偏差	9.65
最大値	50.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(10) Q3. 病床区分ごとの病床数\_緩和ケア...(数量)

合計	76.00
平均	1.33
分散(n-1)	35.05
標準偏差	5.92
最大値	32.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57

(11) 病床数の合計...(数量)

合計	25056.00
平均	439.58
分散(n-1)	76540.46
標準偏差	276.66
最大値	1480.00
最小値	0.00
不明	0
全体	57